

# 生誕100年 山下清展

「今年の花火見物はどこに行こうかな」

「長岡の花火」(部分)絵巻/1950(昭和25)年

2022. 3.25 [金] ~ 5.5 [木・祝]  
鹿児島市立美術館 月曜休館(5月2日除く)  
鹿児島市城山町4-3 6  
9:30~18:00(最終入場17:30)

[入場料] 一般・大学生/1,200円(前売り1,000円) 小・中・高校生/600円(前売り500円)

[プレイガイド] 山形屋、コープかみしま、Aコープ主要店舗、マルヤガーデンズ、ブックスミスミオブシア、南日本新聞販売所(一部除く)、  
高木商店、集景堂、ファミリーマート、ローソン(Lコード84411)、チケットぴあ・ヤフー(コード685-929)

お問い合わせ/南日本新聞社事業部 TEL.099-813-5053(10:00~17:00 来土・日・祝を除く) ※新型コロナウイルスの感染状況により、会場変更になる場合があります。

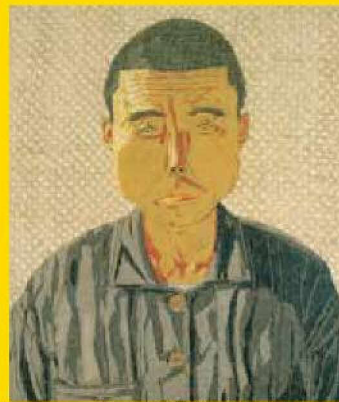
協力：山下清作品管理事務所 企画協力：ステップ・イースト 後援：鹿児島県、鹿児島県教育委員会

主催：鹿児島市立美術館、南日本新聞社

特別協賛：  光学堂 

協賛：竹添不動産

一生涯のパートナー  
第一生命 



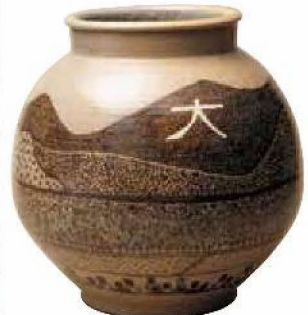
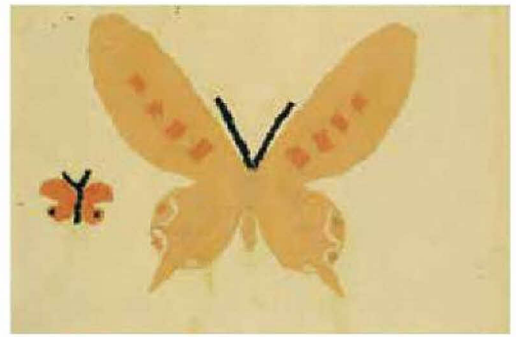
「自分の顔」(部分)絵巻/1950(昭和25)年

© Kiyoshi Yamashita /  
ST Post 2022



生誕100年

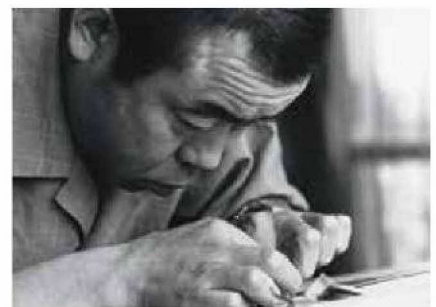
# 山下清展



1.「桜島」ペン画/制作年不詳(個人蔵) 2.「ともだち」貼絵/1938(昭和13)年 3.「蝶々」貼絵/1934(昭和9)年 4.「東京オリンピック」ペン画/1964(昭和39)年  
5.「ロンドンのタワーブリッジ」貼絵/1965(昭和40)年 6.「パリのエッフェル塔」水彩画/1961(昭和36)年 7.「大文字焼風景(牛ノ戸焼)」鉄釉壺/1956(昭和31)年  
©Kiyoshi Yamashita / STEPeast 2022

山下清は1922(大正11)年、東京・浅草に生まれました。18歳で放浪の旅を始め、記憶に残った旅先での風景を緻密で色鮮やかな貼絵に描き、「放浪の天才画家」と称されました。31歳のとき、その画才に驚いたアメリカの写真誌が搜索を始め、翌1954(昭和29)年1月、ここ鹿児島で発見されました。

本展覧会では、「日本の原風景」と称される代表的な貼絵を中心に、独特の手法で描かれた油彩、水彩画、ペン画など約150点を展示します。激動の昭和を自然体で生き、「今年の花火見物はどこに行こうかな」の言葉を最後に49歳で亡くなった天才画家の生涯をたどります。



ポートレート(制作中の山下清)

## EVENT

### 講演会「家族が語る山下清」

講師：山下浩氏(山下清作品管理事務所代表 山下清の甥)

●3月26日(土) 14:00～

●鹿児島県歴史・美術センター黎明館 講堂

### 作品解説会

講師：田村桂子氏(鹿児島市立美術館学芸員)

●4月3日(日)、16日(土) 14:00～

●鹿児島市立美術館 市民アトリエ

### ワークショップ「貼り絵教室」

講師：丸田ちひろ氏(ちぎり絵師)

●4月10日(日)、24日(日) 14:00～

●鹿児島市立美術館 市民アトリエ

対象：小学生と保護者15組(各回)

参加費：1,000円(1組)

※いずれも事前の申込みと観覧券が必要です